

平成23年4月1日～平成28年8月31日の間に 当科において皮膚生検の検査を受けられた方及びそのご家族の方へ

—「皮膚病変における表皮産生セリンプロテアーゼの発現に関する研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院長
研究機関長 前田 嘉信

研究責任者 岡山大学病院 皮膚科 教授 森実真
研究分担者 岡山大学病院 皮膚科 助教 野村隼人

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

皮膚のバリア形成にはセリンプロテアーゼであるカリクレインやその阻害因子が関わっています。アトピー性皮膚炎、乾癬、酒さ、皮膚腫瘍などの皮膚疾患においては表皮角化細胞よりカリクレインが過剰に産生されており、様々な皮膚疾患の病態形成にカリクレインが関与していると考えられます。しかし、実際に皮膚の病変でセリンプロテアーゼやその阻害因子がどの程度発現しており、どのように病気に関係しているのかは明らかになっていません。この研究の目的は、皮膚病変におけるセリンプロテアーゼの発現解析を行うことです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

セリンプロテアーゼの解析を行うことで皮膚疾患の病態の解明、治療に貢献できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成23年4月1日～平成28年8月31日の間に岡山大学病院皮膚科において皮膚生検の検査を受けられた方150名を研究対象とします。

2) 研究期間

平成28年11月倫理委員会承認後～令和7年3月31日

3) 研究方法

平成23年4月1日～平成28年8月31日の間に当院において皮膚生検の検査を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに皮膚生検の組織を選び、セリンプロテアーゼの発現に関する分析を行います。

4) 使用する試料

この研究に使用する試料として、すでに保存されている病理組織（診療で用いた検査の残余検体）を使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから年齢、性別、皮膚所見、治療内容、血液所見などの情報を抽

出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院皮膚科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文、インターネット掲載などで発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合があります。ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 皮膚科

氏名：森実 真

電話：086-235-7282（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-235-7283